

教科	国語	科目	現代文	担当	
履修学年	3年	単位数	文4理3	履修区分	普通科
教科書	高等学校現代文B(第一学習社)				
副教材等	現代文B学習課題集				

1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習評価

評価の観点	当該科目の評価の観念の趣旨
a 関心・意欲・態度	国語で伝え合おうを進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
b 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
c 書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
d 読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
e 知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

※定期考査については、上記b、c、d、eの観点について学習内容に応じて適切に配分しています。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点					単元(教材)の評価基準	評価方法				
					a	b	c	d	e						
前	4	評論	副教材	評論の論理的構成を把握し、そこから筆者の主張を理解する読解の手順を学ぶ。	○	○	○	○	○	a) 演習に積極的に取り組んでいる。 b) 他者との意見交流において、互いの理解を深められるよう工夫している。 c) 内容の理解、並びに語句の理解を深め、積極的に記述力を高めようとしている。 d) 本文の展開、論主題を読み取っている。 e) 難解な語句や抽象的表現を捉える語彙力を身につけようとしている。	・課題テスト ・ノート ・小テスト ・スピーチ、音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査				
	5				○	○	○	○	○						
	6				○	○	○	○	○						
前期中間考査															
期	6	評論	副教材	消費社会とは何か 評論の論理的構成を把握し、そこから筆者の主張を理解する読解の手順を学ぶ。	○	○	○	○	○	a) 演習に積極的に取り組んでいる。 b) 他者との意見交流において、互いの理解を深められるよう工夫している。 c) 内容の理解、並びに語句の理解を深め、積極的に記述力を高めようとしている。 d) 本文の展開、論主題を読み取っている。 e) 難解な語句や抽象的表現を捉える語彙力を身につけようとしている。	・課題テスト ・ノート ・小テスト ・スピーチ、音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査				
	7				○	○	○	○	○						
	9				○	○	○	○	○						
前期末考査															
後	9	評論	副教材	評論の論理的構成を把握し、そこから筆者の主張を理解する読解の手順を学ぶ。	○	○	○	○	○	a) 演習に積極的に取り組んでいる。 b) 他者との意見交流において、互いの理解を深められるよう工夫している。 c) 内容の理解、並びに語句の理解を深め、積極的に記述力を高めようとしている。 d) 本文の展開、論主題を読み取っている。 e) 難解な語句や抽象的表現を捉える語彙力を身につけようとしている。	・課題テスト ・ノート ・小テスト ・スピーチ、音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査				
	5				問題演習	実践的な演習問題に取り組む。	○	○	○			○	○	a) 実践的な演習問題に積極的に取り組み、語句の理解を深め、国語の力を高めようとしている。 b) 実践的な演習問題に積極的に取り組み、語句の理解を深め、自身の考えを深めようとしている。 c) 実践的な演習問題に積極的に取り組み、語句の理解を深め、記述力を高めている。 d) 実践的な演習問題に積極的に取り組み、語句の理解を深め、自分の考えを深めようとしている。 e) 記述問題やマーク問題演習を行う中で、語句や構造に注意し分析的に読み、理解を深めている。	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査
	11						○	○	○			○	○		
後期中間考査															
後	11	評論・小説	問題演習	実践的な演習問題に取り組む。	○	○	○	○	○	同上	・課題テスト・ノート ・小テスト・音読 ・授業態度 ・課題取り組み状況 ・定期考査				
	3				○	○	○	○	○						

4 考査の観点別配点

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	10	10	10	
b	20	20	20	
c	20	20	20	
d	30	30	30	
e	20	20	20	
計	100	100	100	0

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ① 本文を熟読し、語句の意味、予習プリントを確実に自力で解いてくること。
- ② 課題、演習問題に丁寧にじっくりと取り組むこと。
- ③ 重要な語句、筆者の主張、心情に線を引き、内容を理解するように努めること。
- ④ 提出物の期限を厳守すること。

